

公園トイレ改築事業

要求水準書

(別紙資料編)

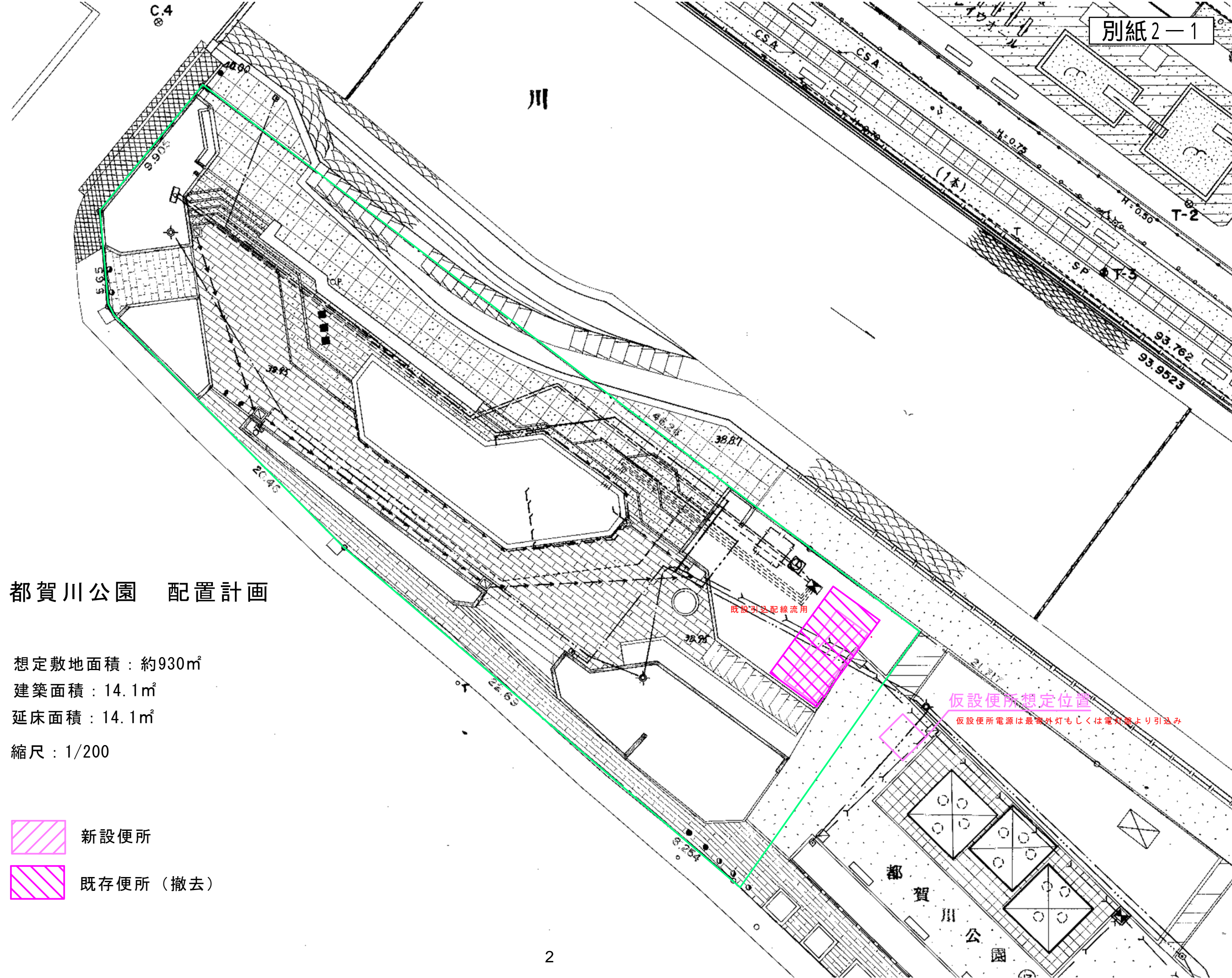
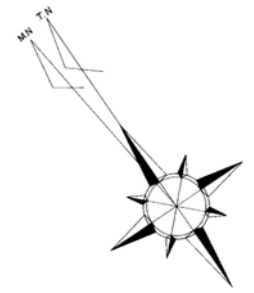
平成31年4月8日

神戸市

【 目 次 】

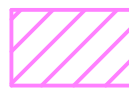
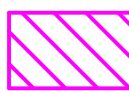
別紙 1 対象施設一覧表	1
別紙 2 配置計画図	
2-1 都賀川公園	2
2-2 西灘公園	3
2-3 会下山公園	4
2-4 六甲唐櫃台公園	5
2-5 桜が丘中央公園	6
別紙 3 トイレ標準レイアウト図	7
別紙 4 工事監理者の行う業務内容	8

		都賀川公園	西灘公園	会下山公園	六甲唐櫃台公園	桜が丘中央公園
住所		灘区篠原南町5丁目9	灘区船寺通3丁目他	兵庫区会下山町3丁目21	北区唐櫃台4丁目38	西区桜が丘東3丁目1-11
用途地域		第1種住居	第1種住居	第1種中高層住居専用	第1種低層住居専用	第1種中高層住居専用
建蔽率		60	60	60	40	60
容積率		200	200	200	80	200
防火地域		準防火	準防火	準防火	無指定	無指定
接道		1項1号	1項1号	1項1号	1項1号	1項1号
地盤調査		要	不要	要	要	要
改築位置		同位置	別位置	同位置	同位置	同位置
仮設便所	要・不要	要	不要	要	要	要
	計画通知	要	—	要	不要	不要
タイプ		L	M	M	M	M
面積		14.1㎡	12.5㎡	12.5㎡	12.5㎡	12.5㎡



都賀川公園 配置計画

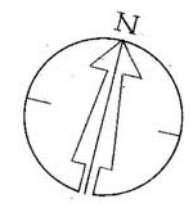
想定敷地面積：約930㎡
 建築面積：14.1㎡
 延床面積：14.1㎡
 縮尺：1/200

-  新設便所
-  既存便所（撤去）

既設引込配線流用


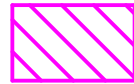


仮設便所想定位置
 仮設便所電源は最寄外灯もしくは電灯柱より引込み

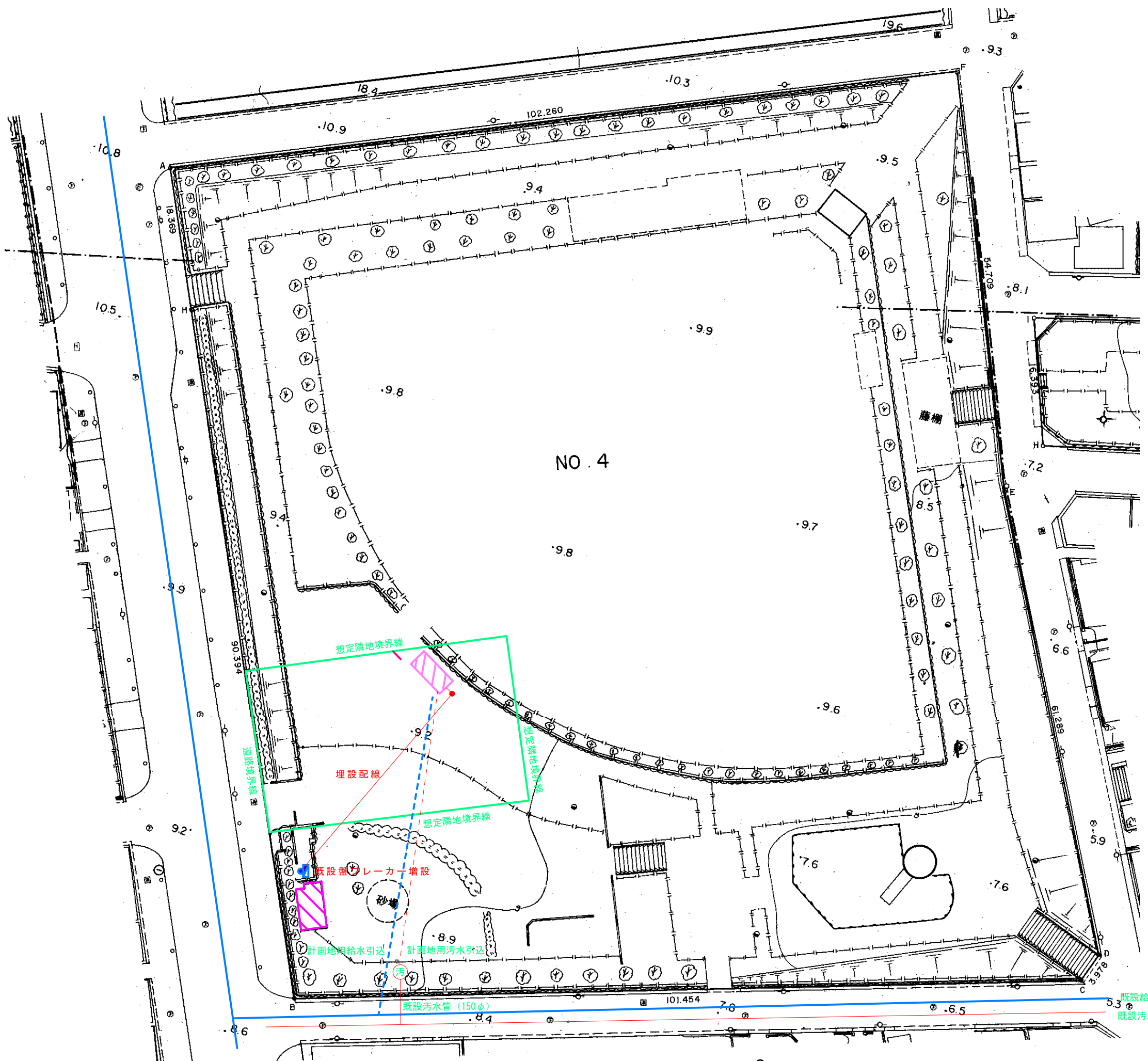
西灘公園 配置計画



想定敷地面積：約700㎡
建築面積：12.502㎡
延床面積：12.502㎡

縮尺：1/500

-  新設便所
-  既存便所（撤去）
-  給水管
-  污水管



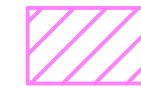
既設給水管 (150φ)
既設污水管 (250φ)

会下山公園便所 配置計画

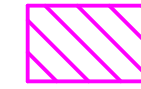
想定敷地面積：約3900m²

建築面積：12.502m²

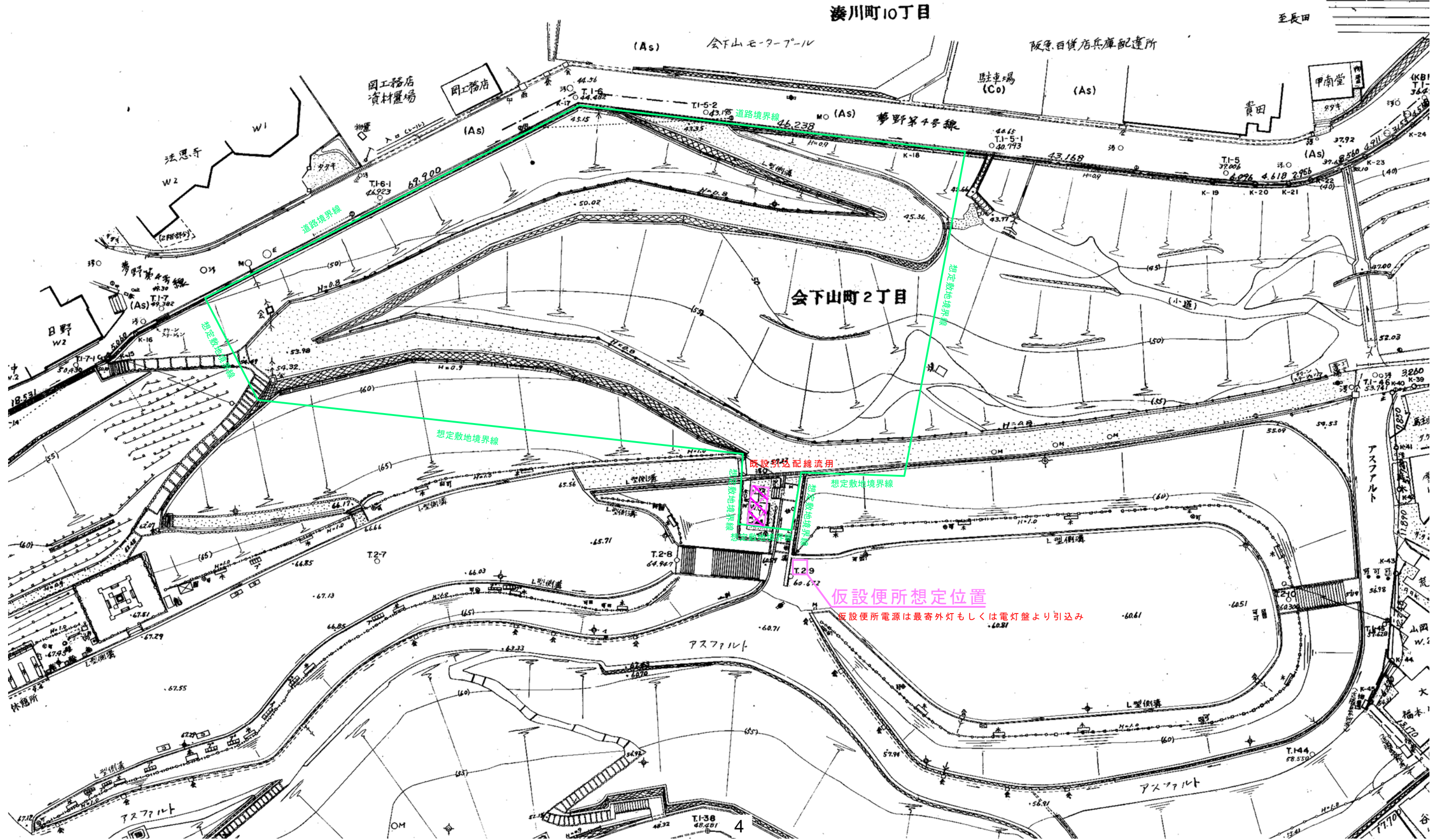
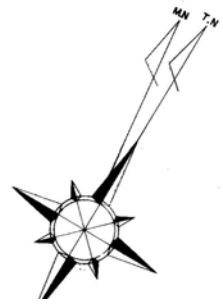
延床面積：12.502m²

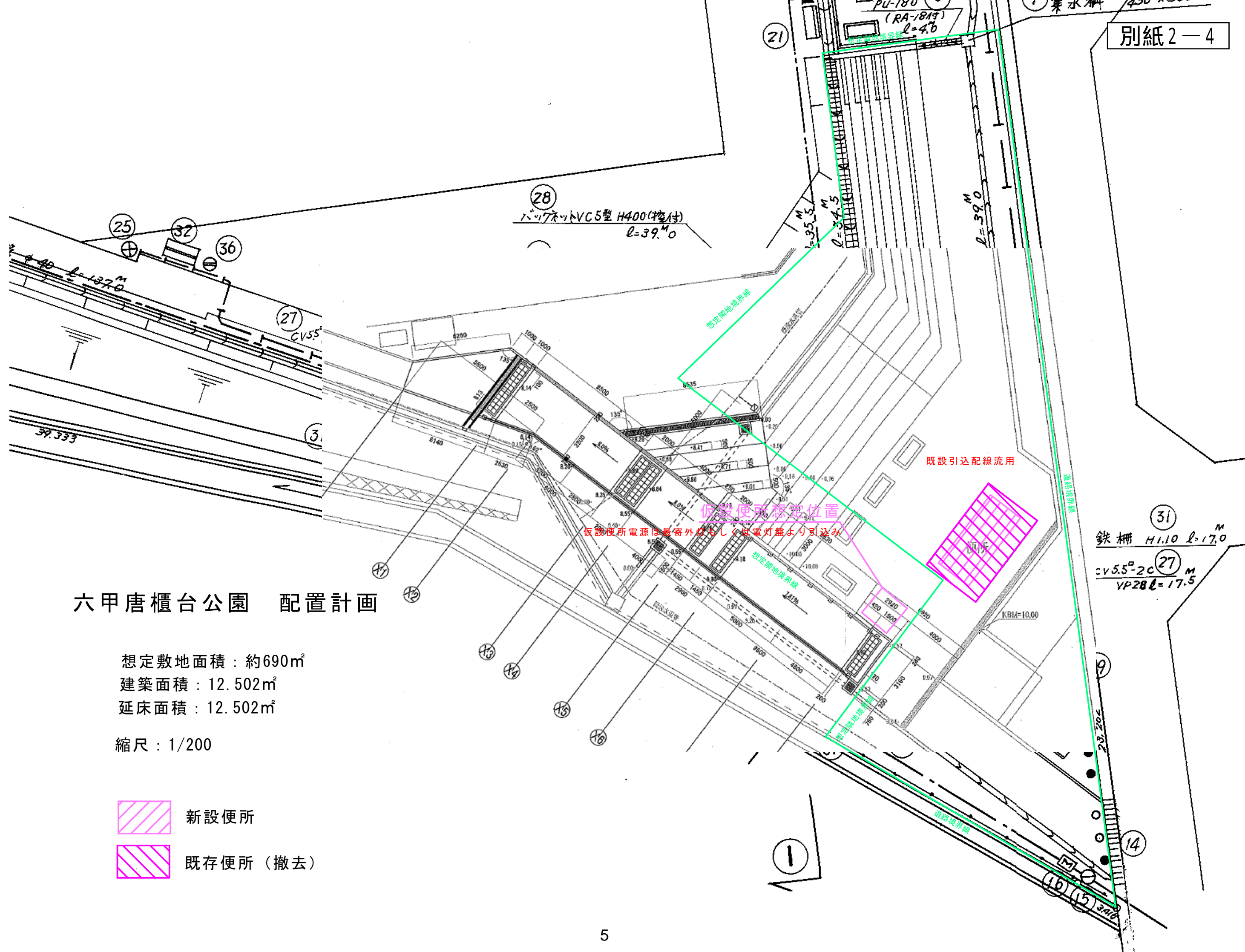
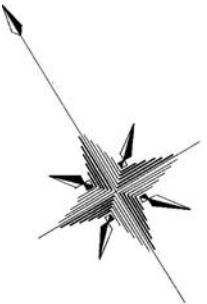


新設便所



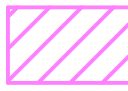

既存便所（撤去）







六甲唐櫃台公園 配置計画

想定敷地面積：約690㎡
 建築面積：12.502㎡
 延床面積：12.502㎡
 縮尺：1/200

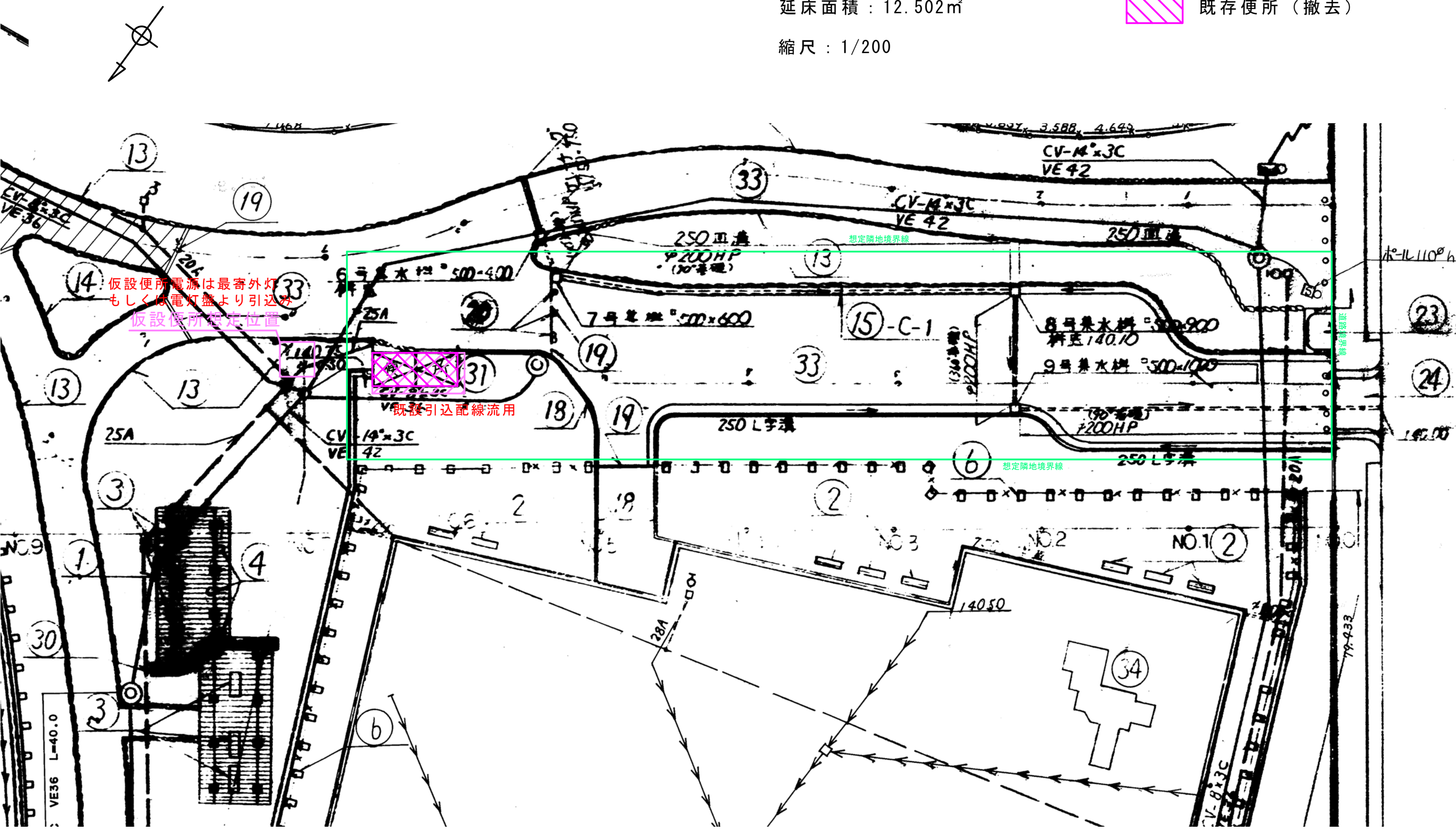
-  新設便所
-  既存便所 (撤去)

桜が丘中央公園 配置計画

想定敷地面積：約680㎡
建築面積12.502㎡
延床面積：12.502㎡

 新設便所
 既存便所（撤去）

縮尺：1/200

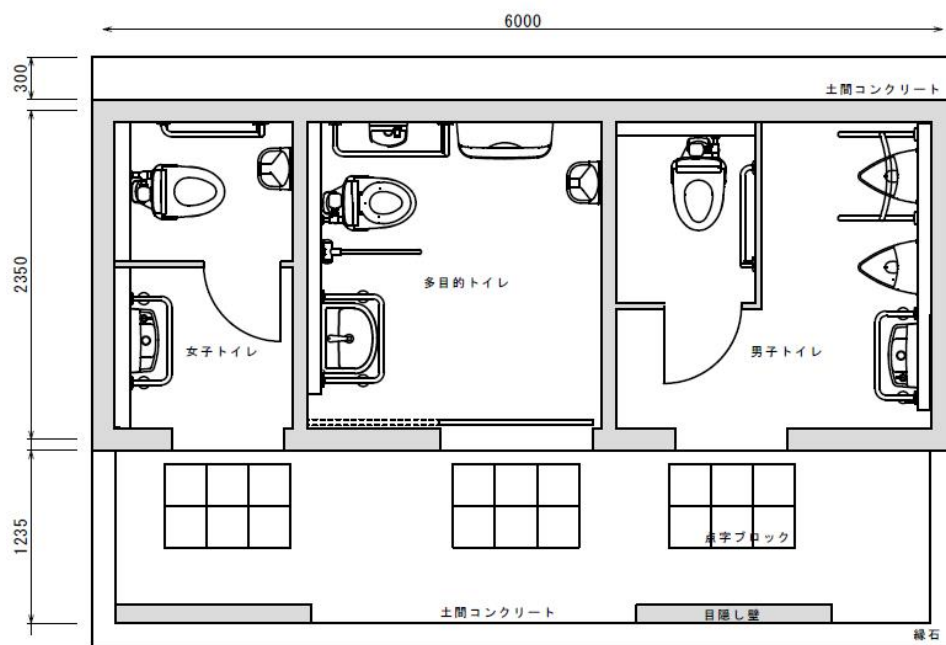


仮設便所電源は最寄外灯
もしくは電灯盤より引込み
仮設便所想定位置

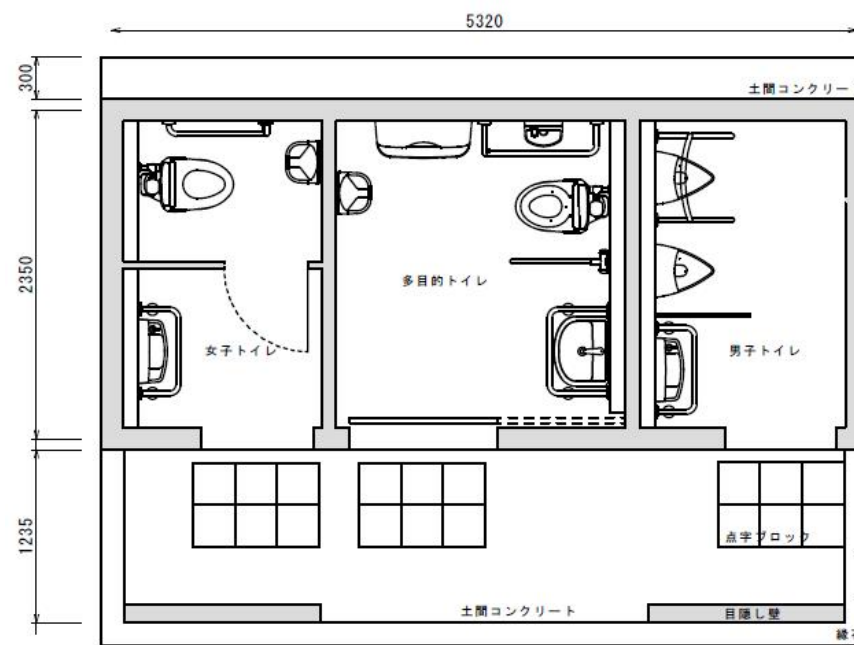
既設引込配線流用

トイレ標準レイアウト図

別紙 3



Lタイプ



Mタイプ

【用語の解説】

- 市係員：公園トイレ改築事業における、神戸市側の担当者をいう。
- 施工企業等：事業者が、改築業務の全部又は一部を請け負わせる構成企業（以下、「施工企業」という。）又は公園トイレ改築事業委託契約書（以下、「事業契約書」という。）の規定により定められた現場代理人をいう。
- 承諾：事業契約書、要求水準書及び設計図書（以下、「契約図書」という。）で明示した事項で、施工企業等が市係員に対し書面で申し出た工事の施工上必要な事項について、工事監理者が書面により同意することをいう。
- 指示：工事監理者が施工企業等に対し、工事の施工上必要な事項について書面をもって示し、実施させることをいう。
- 協議：書面により協議事項について、関係者双方が対等の立場で合議し結論を得ることをいう。
- 検査：施工の各段階で施工企業等が確認した施工状況や検査結果等について、施工企業等により提出された資料に基づき、工事監理者が設計図書との適否を判断することをいう。
- 立会い：契約図書に示された項目について、工事監理者が臨場し、内容を確認することをいう。
- 書面：発行年月日が記載され、署名又は捺印された文書をいう。
- 確認：契約図書に示された事項について、工事監理者が臨場若しくは施工企業等が提出した資料により、工事監理者がその内容について契約図書との適合を確認、施工企業等に対して認めることをいう。

【業務内容】

工事監理者の業務欄の各印は、下記を基準に工事監理業務を行うことを示す。

1) 工事監理者の業務

- 印は、工事監理者の判断により必要な確認、施工企業等に対して協議、申し入れ又は指示等を行う。ただし、工事監理者が自己の判断で決定できない場合は、市係員に報告し指示を受ける。

承 印は、事前に承諾を行う。

検 印は、抽出検査を行う。

立 印は、全数検査を行う。

※ J I S 又は J A S に定める規格に適合するものについては検査を省略することができる。

2) 現場立会いの別

立 印は、工事監理者が検査等を行うための抽出立会いをいう。

立 印は、工事監理者が検査等を行うための全数立会いをいう。

* 立会いの別及び工事監理者の業務区分の見方及び解説

ケース	立会いの別	監理業務区分	解 説
(1)		○	工事監理者は、書類又は現場で確認等し市係員へ報告する。
(2)		承	工事監理者は、書類等を事前に承諾し市係員へ報告する。
(3)	立	検	工事監理者は、現場において対象となる部分の全数を立会い及び検査をする。

〔注〕 監理項目中の要点及び細目の（ ）内数字は、標準仕様書（平成 28 年版）の章・節・項目の番号である。

建 築 工 事

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立会いの別	監理業務区分	備 考	写真撮影
	要 点	細 目					
地 質 調 査	標準貫入試験		設計上必要な地耐力・支持層の確認に疑問を認めた場合市係員に報告、専任技術者	立	○	報告書の提出	○
	素掘り試験		設計上必要な地耐力・支持層の確認に疑問を認めた場合市係員に報告、専任技術者	立	○	報告書の提出	○
	(4.2.4) 載荷試験		施工計画書、平板載荷試験、沈下量の確認	立	○	特記の確認 報告書の提出	○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
一 般 共 通 事 項	計 画 通 知 等		工事着工前に確認済証の確認をする。		○	計画通知提出工事	
	建設リサイクル 通 知 書		建設リサイクル通知書及び産業廃棄物処理業者（契約書内容）の確認		○		
	現 場 説 明		敷地境界線、ベンチマーク、設計GL 重要事項がある場合は、市に報告する。	立	○	設計担当者の立 会い 記録の作成	○
	(1.1.8) 設計図書の疑義		質疑応答書、打合せ簿		○	記録の整備	
	設 計 変 更		指示書を必ず作成する		○	指示年月日を明 確にする。	
	(1.1.4) 工事実績の登録		請負金額 500 万円以上の場合 （500 万円以上かつ 2,500 万円 未満は受注時のみ） （受注時、変更時、完了時）		○	特記の確認 データの確認 CORINS 受領証 の確認	
	(1.1.5) 施工管理体制		建設業法に基づく施工体制台 帳（①施工体制台帳②下請負人 に関する事項③再下請け負通 知書④下請負契約書）を作成し た場合 （下請契約金額が 4,500 万円 以上又は、低入札価格調査を経 た工事の場合）		○	工事現場施工体 制等チェック様式に よる確認 施工体系図の掲 示	
	損 害 保 険		保険種別、期間、保険金額、工 期延期の手続き		○	特記及び証書（写 し）の確認	
	建設業退職者 共 済 制 度		掛金収納書、受払い簿、制度に 関する掲示		○		
	(1.1.10) 工期変更資料		変更工程表、説明資料、理由書		○		
	(1.1.12) 文化財その他の埋設		文化財その他の埋設物の措置	立	○		○
	(1.2.1) 実 施 工 程 表		実施工程表、必要に応じて工程 調整会議		承		
	(1.2.2) 施 工 計 画 書		総合計画書、工種別の施工計画 書		承	特記の確認	
	(1.2.3) 施 工 図 等		別契約工事との調整、総合図		承		
	(1.2.4) 工 事 の 記 録		協議内容、指示内容、工事の経 過、施工の記録、工事写真等		○	必要に応じて提 出請求	
	(1.3.3) 電 気 保 安 技 術 者		証明資料		承	特記の確認	
	(1.3.5) 施 工 条 件		施工時間、休日及び夜間作業		○	特記の確認	
	(1.3.11) 発生材の処理等		副産物の抑制、再利用、再資源 化、マニフェストの確認 特別管理産業廃棄物の有無及 び処理方法、調書		○	特記、廃棄物処理 委託契約書の確 認、再生資源利用 計画書の提出 関連法規等の確 認	

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
一 般 共 通 事 項	(1.4.1) グリーン調達		証明資料 完成時に所定の様式による提出		○	グリーン購入法 神戸市調達指針 の確認	
	(1.4.2) 材料の品質等		材質、仕上げの程度、色合い、 同等品願い		承		
	(1.4.4) 材料の検査等		J I S又はJ A Sマーク表示、 規格証明書		検	特記の確認 各章の検査、試験 等の項目に適用	
	(1.4.5) 材料の検査に伴う 試験等		試験方法、試験計画書、試験場 所	立	検	各章の検査、試験 等の項目に適用	
	(1.5.2) 技 能 士		証明書		○	特記の確認	
	(1.5.5) 施工の検査等		指示工程毎の検査	立	検		
			見本施工	立	検	特記に記載され た場合	
	(1.5.9) 化学物質の 濃度測定		測定対象物質、測定方法、測定 箇所数 測定室の指示、技量証明書資 料、成績報告書の確認		○	特記の確認	
	(1.7.2、3) 完成図等		完成図、保全に関する資料		○	特記の確認	
	環境配慮事項		環境配慮事項チェックリスト ②		○	公共工事環境配 慮ガイドライン 《建築編》	
	下請負人届け		当初、最終、変更		○		
	主任技術者 監理技術者		工事監理技術者:3,000万円(建 築一式工事の場合は4,500万 円)以上を下請契約する場合		○		
	近隣家屋調査		内外観、傾斜、水平、写真撮影、 報告書		○	特記の確認	○
	モデルルーム			立	検	特記の確認	○
官庁検査		建築指導部検査、消防検査、福 祉関連検査等	立	○			
連絡体制	緊急時	事故発生時、災害時等の対応		○	安全管理委員会、 安全部会事務局 等へ連絡、報告	○	
	休暇等	GW、盆休み、年末年始等の長 期休暇		○			

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影	
	要 点	細 目						
仮 設 工 事	仮 設 計 画	(1.2.2) 施 工 計 画 書 (2.1.1～2) (2.2.4) (2.3.1～3)	仮設建物配置、工事中各種機械 設備、動力、給排水設備、仮囲 い、搬出入計画、警備員の配置、 洗車設備、他事業との関連、現 場の安全対策、足場養生シー ト、公害防止、工事標示板、実 施工程表		○	特記の確認 建築工事監理指 針参照	○	
	安 全 対 策 等	設計図書に特記				○		○
		一般的な対策				○		
	建 物 配 置	(2.2.1) 敷地状況確認 及び縄張り	敷地境界、隣接土地建物、搬入 道路	立	○		○	
			建物位置の検査	立	検		○	
		(2.2.2) ベンチマーク	不動点の確認	立	検		○	
			現況地盤高の確認、完成地盤高 の検討	立	○			
	(2.2.3) 遣り方	基準墨の検査	立	検		○		
	工 事 用 仮 設 物	(2.4.1) 仮 設 物 撤 去 そ の 他	仮設物撤去、跡地整理状況	立	○		○	
			仮設物の移転が生じ、工事目的 物の一部を使用 する場合	立	承		○	
土 工 事	準 備	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指 針参照		
	(3.2.1) 根 切 り	根 切 り 底	地質調査資料との対比、指示地 盤の検査、深さの検査、床付面 の保護、地下障害物等の点検と その処理方法の指示、施工計画 書内容の検査	立	検		○	
	(3.2.2) 排 水		湧き水・たまり水等の処理の確 認、予想外の出水等の協議、根 切り底・法面の保護、敷地内と 近隣との安全性の確認	立	○		○	
	(3.2.3) 埋戻し及び盛土		土質の確認、締め方、余盛り 型枠存置の協議		○	特記の確認	○	
	(3.2.5) 建設発生土の処理		処分地の確認、再利用の指示、 工事間流用の指示		○	特記の確認		
	(3.3.1) 山 留 め	(3.3.2) 管 理	異常時処理の協議及び指示	立	○		○	

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
		(3.3.3) 撤 去		立	○		○
地 業 工 事	準 備	(1.2.2) 施 工 計 画 書	既成杭地業、場所打コンクリート杭地業、地盤の載荷試験、施工管理技術者証明資料		承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
	杭 材 料	(4.3.2) 既 成 コンクリート杭	[RC杭、PHC杭] JIS マーク、材種・寸法、継手箇所数、杭先端形状	立	検	特記の確認 規格証明書	○
			[SC杭、PRC杭、ST杭他] 材種・寸法、継手箇所数、杭先端形状	立	検		○
		(4.4.2) 鋼 杭	[鋼管杭、H形鋼杭] JIS マーク、材種・寸法、杭先端形状、補強	立	検	特記の確認 規格証明書	○
		(4.5.3) 場 所 打 ち コンクリート杭	鉄筋：結束、継手、溶接、鉄筋 かご補強、かぶり厚さ 〔5章 鉄筋工事〕の適用	立	検		○
	コンクリート：種別、強度試験、スラブ 試験 〔6章 コンクリート工事〕の適用		立	○	○		
	工 法	(4.3.4) セメントミルク 工 法	技量証明書資料、圧入による杭 の建込み	立	○		○
		(4.5.4) アースドリル、リバース ホールディング工法	深さ及び支持地盤 地中障害がある場合、支持地盤 に疑問を生じた場合その状況を 上司に報告	立	検		○
	(4.3.7、4.4.6) 杭 頭 の 処 理		杭頭の処理方法、結果の確認、 切取り部分の処 理杭頭の補強方法	立	○		○
	(4.2.2) 試 験 杭	(4.3～4.5)	特記なき場合最初の1本、支持 力・支持地盤の確認各種管理基 準値、場合によって施工計画変 更	立	検	特記の確認	○
	(4.2.5) 報 告 書	(4.3.8、4.4.7、 4.5.7) 施 工 記 録	すべての杭、継手、打込み深さ、 高止まり量、セメントミルク 量、施工時間、杭の傾斜、水平 方向のずれ、推定杭耐力、杭頭 処理		○		
	(4.6.3～4.6.5) 割り石、砂、砂利、 捨コンクリート地業 床 下 防 湿 層	(4.6.2) 材 料	品質・形状・寸法・厚さ		○		
		(4.6.6) 施 工 記 録	締め固め状況、仕上がりレベル		○		○
	(4.2) 施 工 試 験	(4.2.3) 杭の載荷試験	試験箇所数及び試験位置	立	○	特記の確認 敷地調査共通仕 様書	○
(4.2.4) 地盤の載荷試験		試験箇所数及び試験位置	立	○	○		
地 盤 改 良	(1.2.2) 施 工 計 画 書	材料、工法、配合条件、施工管 理		承	建築工事監理指 針参照		

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影	
	要 点	細 目						
		施 工 記 録	効果確認、圧縮強度試験報告書、六価クロム溶出試験報告書		承	特記の確認 建築工事監理指針参照	○	
		試 験	試料採取	立	○		○	
鉄 筋 工 事	準 備	(1.2.2) 施 工 計 画 書	鉄筋工事、ガス圧接		承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
	(5.1.3) 配 筋 検 査	主要構造部の 組立・配筋	鉄筋・埋設物の位置・数量・継手・定着長さ、かぶり厚さ、施工図との相違、鉄筋の種類、ミルト、マルタックの照合、組立精度、開口部補強、鉄筋の方向	立	検		○	
	(5.2) 材 料	(5.2.1) 規 格 証 明	J I S規格データ（規格適合品は試験成績データの検討）又は建築基準法第37条第2号の大臣認定書		検	規格証明書等		
	溶 接	(5.2.3) 試 験	種類、製造ロット、径ごと引張試験 試験体：3体/回		○		○	
	(5.4) ガ ス 圧 接	(5.4.2) 技 能 資 格 者		ガス圧接技能資格の証明		○	資格証明書の提出	
		(5.4.3) 品 質		ふくらみ、ふくらみ長さ、圧接面のずれ、偏心、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり、整備済器具の使用	立	○		○
		(5.4.9) 試 験		(外観) 欠陥の有無、全圧接部	立	検		○
(試験方法) 超音波探傷試験－1ロット30箇所 引張試験－1ロット3箇所				立	検	検査成績書の提出 試験従事者証明書	○	
(5.4.10) 不合格となった 圧接部の修正		原因の調査、改善措置		承				
コ ン ク リ ー ト 工 事	準 備	(1.2.2) 施 工 計 画 書	コンクリート工事、型枠工事		承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
	材 料	(6.2、6.3) コンクリートの 計画調合書 ＜配合報告書＞	種類、強度、種別、混和材、温度、空気量、水セメント比、スランプ、単位水量、単位セメント量、塩化物含有量、骨材のアルカリシリカ反応試験報告書の確認 フレッシュコンクリートの試験の適用 コンクリートの強度試験の適用 日総建の巡回採取による骨材試験結果報告書の確認（RC、SRC造3階建以上又は500㎡を超えるもの）		承	特記による 構造コンクリートの呼び強度は、設計基準強度＋3N/m ² ＋温度補正 試験結果の報告		

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影	
	要 点	細 目						
	(6.2、6.4、6.5) 打 設 準 備	(6.4.1) 製造工場の選定	工場現場内の運搬方法・運搬時間、工場の製造能力・運搬能力、施工管理技術者の証明等		承	同一打込工区への複数工場混合使用を避ける		
	(6.2、6.4、6.5) 打 設 準 備	(6.3.2) 試 し 練 り	J I S 規格品コンクリート以外の場合	立	○		○	
コ ン ク リ ー ト 工 事	(6.6) 打 設	(6.6.4～5) 打 込 み ・ 締 め 固 め	固め打止め箇所、打継ぎの処理、埋設物の位置確認、傾斜形シュートの承諾、目地寸法、掃除、散水、打込み計画書、打込み後の確認	立	○		○	
		(6.6.7) 構 造 体 補 修	主要構造部…補修方法指示→補修後の検査 その他…補修方法の承諾→補修後の確認	立	○		○	
	(6.8) 型 枠	(6.8.4) 型 枠 の 組 立	支保工、型枠の種類、スリーブ、止水板、はく離剤の選定、表面の清掃、紙チューブの力骨・力板 断熱材等の位置・固定方法	立	検		○	
		(6.8.5) 存 置 期 間 及 び 取 り 外 し	強度試験結果、材齢、気温、荷重、支柱の盛り替え、型枠締め付け金具の頭処理		○	圧縮強度より定める場合は承諾	○	
	(6.9) 試 験	(6.9.1) 適 用 範 囲	試験の省略		承		コンクリートが軽易な場合 建築工事監理指針参照	
		指 定 試 験 所 で の 試 験	同意書様式の引渡、試験体に疑義が生じた場合・不合格の場合の対応		○			
		(6.9.3～4) フ レ ッ シ ュ コ ン ク リ ー ト の 試 験	①試料の採取 普通コンクリート(*1) - 150 m ³ 毎 (荷卸し場所) 軽量コンクリート - 100 m ³ 毎 (打込む場所) ②試料の数 (スランプ、空気量、塩化物量 (*2)) 3 台の運搬車×1回=3回 ③供試体 (テストピース) の数 3 台の運搬車×3個=9個 (①管理試験用、②脱型用、③材齢 28 日 (*3))		立	○	標準仕様書参照 *1 設計基準強度 27N/m ² 以上は、100 m ³ 毎 *2 最初の測定は、打込み当初とし、カンパを使用する場合は、3枚 *3 ①標準養生 ②・③現場水中養生	○
		(6.9.4～6) コ ン ク リ ー ト の 強 度 試 験	脱型用、管理試験用の強度試験については、必要に応じて確認 材齢 28 日の強度試験については、公的機関等で試験を行うため省略できる	立	○	標準仕様書参照 試験成績書の報告を受ける	○	
	(6.13) マ ス コ ン ク リ ー ト	(6.13.1) 一 般 事 項	高炉セメントB種を用いる普通コンクリートをアルカリ骨材反応抑制対策に使用する場合に適用 (6.1～6.9) の適用		○	特記の確認		

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影	
	要 点	細 目						
		特 殊 コンクリート						(6.12) 暑中における コンクリートの 取 扱 い
コ ン ク リ ー ト 工 事	特 殊 コンクリート	(6.10) 軽 量 コンクリート	骨材・調合・練りませ・運搬・ 打込み等の検討		○			
		非構造用軽量 コンクリート			○	特記の確認		
		(6.11) 寒 中 コンクリート	工事用資材と保護施設・調合・ 養生の方法、それらの管理方 法、打込み時コンクリート温 度、養生 打切り時期、その他 の検討		○	適用期間、高度差 補正の確認	○	
		(寒中コンクリート) 早強ポルトランド セメントの使用	計画調合を定める際、積算温度 を 105° D・Dまでとする場合		○			
		そ の 他 の コンクリート	混和材料の検討		○	特記の確認		
鉄 骨 工 事	(7.1) 一 般 事 項	(1.2.2) 施 工 計 画 書	製作要領書、溶接施工管理技術 者 溶接工等技量証明書、建方計 画、搬入計画		承	特記の確認 建築工事監理指 針参照		
		(7.1.3) 鉄骨製作工場	製作工場のグレード、能力、精 度、機械、社内検 査、運搬、 検査成績表		承	特記の確認		
		(7.1.4) 施工管理技術者	資格証明、工事経歴書の確認		承	特記の確認		
	(7.2) 材 料	(7.2.1) 鋼 材	J I S 規格・マークの確認、ミ ルシート			検	規格証明書の提 出	
		(7.2.2) 高力ボルト	トルシア形、J I S 形、溶融亜 鉛めっき、径、首下寸法、締付 け長さに加える長さ			承	規格証明書の提 出	
		(7.2.3) 普通ボルト	材質、形状、寸法			承	規格証明書の提 出	
		(7.2.4) アンカーボルト	材質、種類、規格、等級、形状、 寸法			承	規格証明書の提 出	
		(7.2.5) 溶 接 材 料	溶接棒、ワイヤー、フラックス、 ガス			○	規格証明書の提 出	
		(7.2.6) ターンバックル	割棒式、羽子板ボルト			○	規格証明書の提 出	
		(7.2.7) デッキプレート	材質、形状			○	規格証明書の提 出	
	(7.3) 工 作 一 般	(7.3.2) 工 作 図	現寸図（床書き現寸図） スケール合わせ		立	検	自動加工装置を 用いる場合は作 成省略可 特記の確認	○
			各部寸法、ゲージライン、スリ ープの位置、鉄筋貫通孔、クリ アランス等			承	鉄骨工作標準図	○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
		(7.3.3) 製 作 精 度	部材の組立、溶接開先加工精度、溶接形状の精度		承	鉄骨工作標準図 日本建築学会 「鉄骨精度検査 基準」	
		(7.3.5) 切 断 ・ 加 工	自動ガス切断、剪断切断（厚 13 mm以下）、ひずみの矯正、鉄筋貫通孔径、ボルト孔、塗装		○		
鉄 骨 工 事	(7.3) 工 作 一 般	製 品 検 査	工作図・現寸図との照合、製品精度、各部寸法、溶接検査、社内検査基準、成績表の承諾、のど厚 ひずみ、超音波探傷試験、超音波探傷試験技能資格の証明、鋼材規格の試験 塗装	立	検	工事現場組立符合図 検査報告書	○
	(7.4) 高力ボルト接合	(7.4.2) 摩 擦 面 の 処 理	浮き錆・塵埃・油の付着等摩擦力を低減させるものの除去	立	検		○
		(7.4.7) 縮 付 け	一次締付けトルク値、マーキング	立	検		○
		(7.4.8) 縮 付 け の 確 認	トルシア形：検査記録の提出を受けた後目視検査（回転量、ピンテールの破断）、ボルトの余長 JIS 形：検査記録の提出を受けた後目視検査（トルクコントロール法又はナット回転法による場合の確認）、ボルトの余長	立	検		○
	(7.6) 溶 接 接 合	(7.6.2) 施 工 管 理 技 術 者	溶接施工管理技術者資格証明書、工事経歴書（JIS Z3410の有資格者）		承		
		(7.6.3) 技 能 資 格 者	溶接技能資格者の証明		承	技量証明書	
		(7.6.10～12) 溶 接 部 の 確 認 ・ 試 験 、 補 修	施工後（のど厚、長さ、形状、ひずみ、仕上げ） 浸透探傷試験、磁粉探傷試験、超音波探傷試験不合格溶接の補修	立	検	特記の確認 検査成績書、検査技術者の資格証明書	○
	(7.7) スタッド・デッキプレート溶接		アークスポット溶接、隅肉溶接、焼抜き栓溶接技能者、精度、施工、外観試験、打撃試験、不合格溶接の補修、気温	立	検	特記の確認	○
	(7.8) 錆 止 め 塗 装		品質、塗り回数、塗装範囲、塗装の種別、JIS製品の確認、接合部の塗り回数、塗装しない部分	立	○		○
	(7.9) 耐 火 被 覆		厚さおよび密度の検査、貫通部の処理、確認ピン、耐火表示の確認、耐火被覆材製造所の仕様	立	○	特記の確認 石綿含有率 0% の確認	○
(7.10) 工 事 現 場 施 工	(7.10.2) 建 方 精 度	JASS 6 付則 6 鉄骨精度検査基準	立	検	鉄骨工作標準図	○	

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
		(7.10.3) アンカーボルト	位置・固定方法・天端仕上げの確認、種別、基準 墨、養生、ベースプレートの保持	立	○	特記の確認	○
		(7.10.4～5) 搬入・建方	搬入計画、養生、仮すじかい、仮設補強、安全性 の確保、仮ボルト、ひずみの修正、建入れ直し、形状及び寸法精度	立	検		○
コンクリートブロック・ALC パネル・押出成形セメント板工事	準 備	(1.2.2) 施 工 計 画 書	補強コンクリート造、コンクリートブロック帳壁及び塀、ALCパネル、押出成形セメント板工事		承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
	(8.2) 補 強 コンクリート ブロック造 (8.3) コンクリート ブロック帳壁 及 び 塀	(8.2.2) 材 料	寸法、形状、鉄筋の材質、J I S規格の確認	立	検	特記の確認	○
		施 工 図	割付け、配筋位置、スリーブ、開口部まぐさ、アンカーボルトの位置、配管ダクト		承	既製まぐさの使用承諾	
		施 工	壁縦筋は継手しない、縦やり方、調合、配筋、開口部補強、一日の積上げ段数、上部すき間モルタル詰め、目地、寒冷期の施工、基準墨	立	○		○
	(8.4～5) ALCパネル、 押し出し成形 セメントパネル	(8.4.2) 材 料	コンクリートの調合・配筋・打込み金物の位置の確認、J I S規格品（寸法・精度・ひび割れ・破損）		○	特記の確認 検査成績表 検査記録	○
		施 工 図	パネルの割付け・取付け金物の位置、寸法		承		
		施 工	外観パネル、間仕切壁・屋根及び床パネルの工法の確認、組立て機械、組立て順序、つなぎ材、控え材	立	○	特記の確認	○
		部 材	取付け金物・J I Sの確認		検	検査記録	○
		組 立 て 完 了	組立て位置の精度・接合用鋼材の芯ずれ ひび割れ・破損・ねじれ	立	○		○
	防 水 工 事	(9.1) 一 般 事 項	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指針参照
防 水 施 工 者			指定施工業者の確認		承		
保 証 書			請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証		承	特記の確認	
(9.2) アスファルト防水 (9.4) 合成高分子系 ルーフィングシート 防水		防 水 材 料	指定製造所の確認、JIS マークの確認、特殊ルーフィング等の指定、メーカーの確認、所要量		検	品質証明書	○
		防 水 層 の 下 地	下地の塗りむら、水勾配、落口廻り勾配、下地乾燥の確認、下地クラックの処理	立	○		○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
	(9.5) 塗 膜 防 水	施 工	塗布方法、増し張り、指定層数、厚さ、重ね、ドレーンとの取合い、既設防水層との取合い、配管類との取合い、立上り部納まり	立	検		○
		漏 水 試 験		立	検	特記の確認 結果報告書提出	○
		押え層仕上げ	押さえコンクリートの骨材の確認、伸縮目地充填材・目地割り、EXP. Jの納まり		○		○
防 水 工 事	(9.7) シ ー リ ン グ	(1.2.2) 施 工 計 画 書	材料、有効期間の確認、被着体に 応じたもの、バックアップ材、 ボンドプレーカー		承	特記の確認 建築工事監理指 針参照	
		(9.7.2) 材 料	シーリング材の種類、バックア ップ材		○	特記の確認	○
		(9.7.4) 施 工	気温、バックアップ材・ボンド プレーカーの挿入状況の報告 施工箇所、目地幅・厚み等・サ ンプル試料の提出		検		○
石 工 事	(10.1~10.2)	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指 針参照	
		施 工 図	石割付図、取付け方法、危険防 止、一枚の大きさに注意（製作 可能の限度、ひずみを起こす限 度）運搬限度、取付け詳細、伸 縮目地、目地幅		承		
		(10.2.1) 材 料	品質、産地、仕上げの限度、ひ ずみ、色調、種石の種類、粒の 大きさ、色合い及び仕上げの程 度、製作期間の確認	立	○	特記の確認 見本品の提出	○
	(10.3~10.7) 工 法	施 工	目違いの有無、下地との緊結状 態、裏込めモルタル、養生、清 掃、防水剤、ひっぱり・取付金 物	立	○	特記の確認	○
タ イ ル 工 事	(11.1~11.4)	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指 針参照	
		施 工 図	平、役物、水切りタイル等の使 用区分、目地幅、取合い材との 納まり、設備器具との取合い		承	割付図の提出	
		材 料	品質、寸法、指定メーカーの有 無、見本品の決定、色調、製作 期間の確認、既製調合モルタル 、見本焼き		○	特記の確認	○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
		施 工	下地モルタル、防水剤使用の有無、床の水勾配、目地の仕上げ及び幅、養生、清掃 せき板の散水、コンクリートの締め固め、型枠取り外し、目地仕上げ、清掃	立	○	特記の確認	○
		(11.1.5) 打 診 確 認	屋外のタイル張り及び屋内の吹抜け部分等のタイル張り		○	検査結果報告	○
			浮き・ひび割れ等によるタイルの張直し	立	承	検査結果報告	○
		(11.1.5) 接 着 力 試 験	試験体の位置の指示 (陶磁器質タイル張り) 0.4N/m ² 以上 (陶磁器質タイル型枠先付け) 0.6N/m ² 以上	立	○	検査結果報告	
木 工 事	(12.1~12.7)	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施 工 図	各部寸法、コンクリートの取合い、仕上げとの関係、ちり、軸組方法、合板、割り付け、設備機器との取合い、点検口		承		
		(12.2) 材 料	樹種(代用樹種)、寸法、等級、材長、ひき立て・仕上がり寸法に注意、集成材、含水率、防腐処理、防蟻・防虫処理材の確認(特記による)、釘、構造金物、接着剤		○	発注書の提出 JAS マーク、JIS マーク 防蟻・防虫処理材 証明書提出	○
		施 工	接着剤、仕口、継手、水平、通り、緊結金物、防腐剤塗り、主要墨の確認	立	○		○
屋 根 及 び い 工 事	(13.1~13.5)	(1.2.2) 施 工 計 画 書	長尺金属板葺、折板葺、瓦葺、とい、耐風圧性		承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施 工 図	軒先、棟、ケラバの納まり、谷どい、ルーフトレイン、とい受け金物の位置、防露材、防火区画の貫通、断熱材の取付け		承		
		材 料	指定製造所・工法の確認、厚さ、品質・形状の確認、色調		○		○
金 属 工 事	(14.1~14.8)	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施 工 図	割付け、アンカーボルトの位置、開口部補強、材質・形状・寸法・固定方法・埋め込み金物の間隔、周辺との取合い、設備機器との関係		承		
		材 料	材質・寸法・形状 溶融亜鉛めっきの外観検査、JIS規格品の確認		○	見本品の承諾 仕上げ、色合いの承諾	○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
		施 工	寸法・固定方法、ねじれ、曲り、仕上げ、通り、埋込み金物の位置、補強材、養生、安全性の確認（特に手すりの高さ、手すり子のピッチ、足元のクリヤランス等に注意）、開口補強	立	○	主材製造所の仕様	○
左 官 工 事	(15.1～15.8)	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材 料	JIS マーク確認、指定製造所、指定品質の確認、塗り見本の決定、砂の粒度、接着剤の種別、混和剤、給水調整剤、塩分、仕上げ、色合い		○	見本品の承諾 仕上げ、色合いの承諾 塗布量の報告	○
		施 工	混和剤の使用量、下地湿し、定規ずり、床勾配、目地切り、こて押さえ・研出し仕上げの程度、塗り・吹付け厚さ及び回数、養生方法	立	○	下地処理 下塗り養生期間	○
建 具 工 事	(16.1～16.13)	(1.2.2) 施 工 計 画 書	アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、木製建具、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア		承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施 工 図 (建具製作図)	神戸市型の確認、取合各部関連工事との納り、金具取付部分等の補強、表面処理方法、下地、金物、ガラス取付け方法、材種、寸法、形状、ビス材種・形状		承	建具見本の製作は、特記による。	
		製 品	内法、部材寸法、仕口、材質、溶接跡、ひずみ、通り、防錆処理、金物用穴あけ、取付け足、組立て方法、仕上げの程度、はずれ止め		○		○
	(16.1～16.13)	性 能	耐風圧性、気密性、水密性、遮音性、防火性		承	特記の確認 試験成績書の提出	
		取 付 け	位置、立ち、水平、ひずみ、通り、枠廻り、踏づら、周囲モルタル詰、クサビ取り、溶接部の塗装		○		○
		開 閉 調 整	開閉調整、施錠調整、仕上げ塗装完了後再調整 操作方法表示		○		
		(16.7) 建 具 用 金 物	指定金物の確認、性能の検討、材質、寸法、数、建具の大きさ・重量との関係		承	見本品の提出	
		鍵	種類、施錠の方向、マスターキーの検査・鍵の名札、非常用時操作方法の表示、鍵箱		○	施錠計画 (マスターキー) 鍵の一覧表の提出	
	(16.14) ガ ラ ス	材 料	規格、種別、厚さ、パテの規格、ガasket		○	見本品の提出	

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
		施 工	敷パテ、クリップ取付け間隔、清掃、破損防止、ガスケット、シーリング、防錆処理	立	○		
ウ カ ー ル テ 工 事	(17.1～17.3)	(1.2.2) 施 工 計 画 書	工場生産のメタルカーテンウォール・PCカーテンウォール		承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施 工 図	形状、寸法、仕上がり、必要性能、組立て法、金物取付部分の補強、表面処理方法、ガラス取付け方法、関連工事との納まり		承	特記の確認	
		製 品	材質、形状、表面仕上げ、コンクリートの種類・品質、鉄筋、ガラス		○	特記の確認	○
	(17.1～17.3)	性 能	形状、寸法、耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性など		承	特記の確認	
		取 り 付 け	立ち、水平、ひずみ、通り、防錆処理、アンカー、溶接部の塗装、周囲モルタル詰め、シーリング材料、ガスケット、断熱材料、摩擦低減材料、取付け金物、許容寸法	立	○		○
	塗 装 工 事	(18.1～18.14)	(1.2.2) 施 工 計 画 書	コンクリート、木部、金属、ボード類、左官塗り等の素地、MSDS		承	特記の確認 建築工事監理指針参照
材 料			材種の確認・見本帳・見本塗り板、F☆☆☆☆		○	特記の確認	○
施 工			ラフンの目止め、きず補修、節止め、金属面の処理、工法の種別、下地面の乾燥、各層の乾燥程度、ペーパー掛け、はけ斑、塗り回数、吹き付けの養生、換気、気温、火気注意		○		○
内 装 工 事	(19.1～19.9)	(1.2.2) 施 工 計 画 書	床、壁、天井		承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		(19.2.2) 材 料	JIS マークの確認、指定製造所の確認、ボード釘の種類、接着剤の種類、見本品、色合い、模様、厚さ、F☆☆☆☆		○	特記の確認 証明書（格付け、難燃・不燃、防虫処理等） 品質検査、検査報告書	○
		施 工 図	床、巾木、壁・天井の割り付けを関連して検討する。シート類の継手、はぎ目の位置、床材の継手位置調整		承		
		(19.2.3) 施 工	むら、下地面のくいちがい、トランプによる表面の汚損、接着剤のはみ出し、養生、仮敷き		○		○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影	
	要 点	細 目						
ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	(20.1) 一 般 事 項 下 記 以 外	材 料	指定製造所の確認、見本品の承諾、仕上げ、色合いの承諾、材質、寸法、接着剤、性能		○			
		施 工	寸法（特に高さ・手すり子のピッチ・足元のクリアランス等に注意）固定方法・設備工事の関連・埋込み金物の間隔・安定性の確認、防腐	立	○		○	
	(20.2) ユ ニ ッ ト	材 料	材質、形状、寸法、接着剤、品質、色合い、		○			
		施 工	アンカーの間隔、色の決定、安全性	立	○		○	
	(20.3) プレキャスト コンクリート	(1.2.2) 施 工 計 画 書		手すり、段板、ルーバー等の工場製品		承	特記の確認 建築工事監理指 針参照	
		材 料		調合、鉄筋、補強鉄筋、取付金物、養生		○		○
取 付 け			溶接工資格、取付部溶接の確認、隠蔽部	立	○		○	
ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	(20.4) 間 知 石 及 び コンクリート間知 ブロック積み	材 料	材質、形状、表面仕上げ、コンクリートの調合		○			
		施 工		やり方、裏込めコンクリート厚さ、一日の工程・積上げ高さ、目地仕上げ、養生、水抜きパイプ	立	○		○
	敷 地 境 界 石 標	製 品		仕上り、文字、記号		○		
		施 工		据え付け番号順序、据付け位置、据付け方法、固定具合	立	○	隣地地主・その他 関係者の立会い を求める。	○
排 水 工 事	(21.1～21.3)	(1.2.2) 施 工 計 画 書		屋外雨水排水工事		承	特記の確認 建築工事監理指 針参照	
		材 料		排水管の品質、径、形状、割れ		○		○
		通 水 試 験			立	検		
		(21.3) 施 工		水流れ勾配、継手モルタル詰め、危険防止、交通障害の考慮		○		○
(22.1～22.9)	(1.2.2) 施 工 計 画 書		構内舗装、側溝、街きよ、縁石		承	特記の確認 建築工事監理指 針参照		

区分	監理項目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
舗 装 工		材 料	JIS規格品、種別及び見本種別の確認、砂利、碎石の質・粒度・調合、コンクリート平板のさざ・割れ		○	品質証明書	
植 栽 及 び 屋 上 緑 化 工 事	(23.1~23.5)	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指 針参照	
		材 料	樹木（種別、葉張り、高さ、幹目通り寸法）、客土、肥料、支柱 芝（種類、活き状態）、土壌改良材、屋上緑化システム（耐根層、耐根層保護層、排水層、透水層、土壌層		○		
		施 工	植栽基盤の整備 （仮植、移植、施肥、養生、散水、支柱、固定方法、目詰まり・土壌流出防止） （専門業者による） 地盤の土質、勾配、芝の目地、留付け、土羽打ち、散水養生、養生		○		○
と り こ わ し 工 事	(24) 特記仕様書	(1.2.2) 施 工 計 画 書			承	特記の確認 建築工事監理指 針参照	
		アスベスト含有建材の処理 工事	施工調査、アスベスト粉じん濃度測定、施工記録報告書		○	特記の確認	

機 械 設 備 工 事

区分	監理項目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
一 般 事 項 共 通	現 場 説 明			立	○		
	建設リサイクル 通 知 書		建設リサイクル通知書及び産業廃棄物処理業者（契約書内容）の確認		○		
	損 害 保 険 等		保険種別、期間、保険金額、工期延期の手続き		○		

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
	(1.1.4) 工 事 実 績 の 登 録		請負金額 500 万円以上の場合 (500 万円以上かつ 2,500 万円 未満は受注時のみ) (受注時、変更時、完了時)		○	デマンドの確認 CORINS 受領証 の確認	
	(1.1.5) 施 工 管 理 体 制		建設業法に基づく施工体制台 帳(①施工体制台帳②下請負人 に関する事項③再下請負通知 書④下請負契約書)を作成した 場合(下請負額 3,000 万円以 上及び低入札価格調査を経た 工事の場合)		○	工事現場施工体制 チェック様式による 確認 施工体系図の掲 示	
	建 設 業 退 職 者 共 済 制 度		掛金収納書、受払い簿、制度に 関する掲示		○		
	(1.3.9) 発 生 材 の 処 理		副産物の抑制、再利用、再資源 化、マニフェストの確認、特別 管理産業廃棄物の有無及び処 理方法、調書		○	関連法規等の確 認	
	(1.2.1) 実 施 工 程 表		必要に応じて工程調整会議		承		
	(1.2.2) 施 工 計 画 書		総合計画書、工種別の施工計画 書		承	標準仕様書によ る	
	(1.2.3) 施 工 図 等		別契約工事との調整 設計図書との合致		承		
	(1.2.4) 工 事 の 記 録		協議内容、指示内容、工事の経 過、施工の記録、工事写真、		○	必要に応じて提 出請求	
	連 絡 体 制	緊 急 時	事故発生時、災害時等の対応		○	安全管理委員会、 安全部会事務局 等への連絡、報告	
		休 暇 等	GW、盆休み、年末年始等の長 期休暇		○		
一 般 共 通 事 項	(1.4.2～6) 機 材 の 品 質 ・ 検 査 ・ 試 験		使用材料・製品製作所及び仕入 先一覧表、JIS 表示、試験方法、 試験成績書	立	検	標準仕様書各編 機材の検査、試験 等の項目に適用	
	(1.5.4～5) 施 工 の 検 査 及 び 試 験		指示工程毎の検査	立	検	標準仕様書各編 施工の検査、試験 等の項目に適用	
			見本施工		立	検	特記による

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
	(1.7.1) 完成図その他		保守に関する指導案内書、機器 性能試験成績書 官公署届出書		○	特記による	
	環境配慮事項		環境配慮事項チェックリスト ②		○	公共工事環境配 慮ガイドライン 《建築編》	
	耐震計算書		機器の固定に関する計算書、施 工要領図		○		
	下請負人届け		当初、最終、変更		○		
	主任技術者 監理技術者		設置通知書		○		
	設計変更等		指示書又は打合せ簿（軽微な変 更として処理したもの）作成		○	指示年月日を明 確にする	
	官庁検査		消防検査、建築指導部検査等	立	○		
	(2.1.1～2.3.10) 材料検査		設計図書、承諾書との合致	立	検		
共通 工事	(2.4.1～2.8.1) 配 管		口径、ネジ切り、接合材、地中 埋設深さ、防水層・防火区画貫 通仕舞、勾配、吊り及び支持	立	検	写真その他の方 法によるも可と する	○
	(3.1.1～3.1.6) 保 温		保温箇所、材質、厚み、テープ 巻き状態、見切り	立	検	写真その他の方 法によるも可と する	○
	(3.2.1～3.2.2) 塗装及び防錆		塗装の種類及び塗り回数 識別色、方向、矢印、文字	立	検	写真その他の方 法によるも可と する	○
共通 工事	(1.3.1～1.3.2) 総合調整		試運転における各機器の作動、 振動、騒音等に留意	立	検		
	製品検査		各機器（ボイラー、冷凍機、送 風機、調和機、ポンプ、タンク 類等）の性能及び構造検査	立	検	試験成績表によ るも可とする、必 要により工場検 査	○
	非破壊検査		配管の溶接接合部の検査 試験機器の確認、資格を証明す る資料	立	検	特記による	

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
空 気 調 和 設 備 工 事	耐 圧 試 験		冷温水、冷却水、蒸気配管は水 圧試験 冷媒配管は気密試験	立	検	写真その他の方法によるも可とする	○
	ダ ク ト		板厚、フランジ、補強材、吊り ボルト等の適否 被覆材の種類及び厚さ、防火区 画貫通の仕舞	立	検	写真その他の方法によるも可とする	○
	製 品 検 査		製作図、施工図との合致	立	検		
	施 工 確 認		数量の確認、機器の納まり、気 密試験（エア一式）	立	検		○
	機 能 試 験		性能テスト	立	検		
	製 品 検 査		製作図、施工図との合致	立	検	必要に応じ工場 検査	○
設 自 備 動 工 事 制 御	水 圧 試 験	給水・給湯配管	数量の確認、機器の納まり、気 密試験（エア一式）	立	検		○
	満 水 試 験	排水・通気配管	性能テスト	立	検		
	通 水 試 験	排水・ドレン管	製作図、施工図との合致	立	検	必要に応じ工場 検査	○
給 排 水 設 備 工 事	機 器 取 付		仕様書による試験、隠蔽部は早 急に実施	立	検	写真その他の方法によるも可とする	○
	器 具 検 査			立	検		○
	器 具 取 付		漏水、泥抜き、機器調整、通水	立	検		○
	通 水 試 験		器具取付け位置、ポンプ類据え 付け	立	検		○
衛 生 器 具 工 事	製 品 検 査		製作図、施工図との合致	立	検		
	非 破 壊 検 査		芯出し、取付け位置、ガタつき	立	検		○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
	水 圧 試 験		作動確認、漏水（各部連結部）、閉塞	立	検		
消 火 設 備 工 事	機 器 取 付		製作図、施工図との合致	立	検	必要に応じ工場 検査	○
	性 能 試 験		配管の溶接接合部の検査 試験機器の確認、資格を証明する資料	立	検	特記による	○
	機 材 検 査		仕様書による試験、隠蔽部は早急に実施	立	検	写真その他の方法によるも可とする	○
	器 具 取 付		器具取付け位置、ポンプ類据え付け	立	検		○
	気 密 試 験			立	検		○
	製 品 検 査		設計図書、承諾図との合致	立	検		
設 備 工 事 プロパンガス	器 具 取 付		取付け位置、ガタつき	立	検		○
	満 水 試 験		規定試験圧力の確認	立	検	写真その他の方法によるも可とする	○
	運 転 試 験		設計図書、承諾図との合致	立	検	必要に応じ工場 検査	○
し尿浄化槽設備工事	器 具 取 付		取付け位置、ガタつき	立	検		○
	満 水 試 験			立	検		○
	運 転 試 験		試運転における各機器の作動、振動、騒音に留意	立	検		
	絶 縁 測 定			立	○	絶縁測定表	○

電 気 設 備 工 事

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
一 般 共 通 事 項	現 場 説 明			立	○		
	建設リサイクル 通 知 書		建設リサイクル通知書及び産業廃棄物処理業者（契約書内容）の確認		○		
	損 害 保 険 等		保険種別、期間、保険金額、工期延期の手続き		○		
	(1.1.4) 工 事 実 績 の 登 録		請負金額 500 万円以上の場合（500 万円以上かつ 2,500 万円未満は受注時のみ）（受注時、変更時、完了時）		○	データシートの確認 CORINS 受領証の確認	
	(1.1.5) 施 工 管 理 体 制		建設業法に基づく施工体制台帳（①施工体制台帳②下請負人に関する事項③再下請負通知書）を作成した場合（下請契約金額 3,000 万円以上、及び低入札価格調査を経た工事の場合）		○	工事現場施工体制チェックリストによる確認 施工体系図の掲示	
	建 設 業 退 職 者 共 済 制 度		掛金収納書、受払い簿、制度に関する掲示		○		
	(1.3.9) 発 生 材 の 処 理		発生材の抑制、再利用、再資源化、マニフェストの確認 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法、調書		○	関連法規等の確認	
	P C B 含 有 物 の 処 理		トランス、コンデンサ、蛍光灯安定器等で PCB を含有する物（微量 PCB 含む）の処理方法	立	○	特別管理産業廃棄物管理責任者の確認	○
	(1.2.1) 実 施 工 程 表		必要に応じて工程調整会議		承		
	(1.2.2) 施 工 計 画 書		総合施工計画書、工種別の施工計画書		承	標準仕様書による	
	(1.2.3) 施 工 図 等		設計図書との合致、別契約工事との調整		承		
	(1.2.4) 工 事 の 記 録		協議内容、指示内容、工事の経過、施工の記録、工事写真等		○	必要に応じて提出請求	
	連 絡 体 制	緊 急 時	事故発生時、災害時等の対応		○	安全管理委員会、安全部会事務局等への連絡、報告	
休 暇 等		GW、盆休み、年末年始等の長期休暇		○			

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
一 般 共 通 事 項	(1.4.2～1.4.5) 機材の品質・ 検査・試験等		使用材料・製品製作所及び仕入 先一覧表 JIS表示 試験方法、試験成績書等	立	検	標準仕様書各編 機材の検査、試験 等の項目に適用	
	(1.5.3～4) 施工の検査 及び試験		指示工程毎の検査	立	検	標準仕様書各編 施工の検査、試験 等の項目に適用	
			見本施工	立	検	特記による	
	(1.7.1～3) 完成図その他		保守に関する説明書、機器性能 試験成績書 官公署届出書等		○	特記による	
	環境配慮事項		環境配慮事項チェックリスト ②		○	公共工事環境配 慮ガイドライン 《建築編》	
	耐震計算書		機器の固定に関する計算書、施 工要領図		○		
	下請負人届		当初、最終、変更		○		
	主任技術者 監理技術者		設置通知書		○		
	設計変更等		指示書又は打合簿(軽微な変更 として処理したもの)を作成		○	指示年月日を明 確にする	
官庁検査		経済産業局検査、消防検査、建 築指導部検査等	立	○			
電 力 設 備 工 事	(1.20.1) 機材確認		製作図・施工図との合致、受渡 検査等	立	検	JIS表示、試験成 績書	
	(2.18.2) 施工確認	機 器	数量、取り付け状況の確認	立	検		○
		屋 内 配 管	配管経路の確認、電線管の太 さ、ネジ切箇所 塗料塗布、電線管の固定	立	検	写真その他の方 法によるも可と する。	○
		地中埋設配管	配管経路の確認、埋設深さ、他 の埋設物との取り合い、保護材 料	立	検	写真その他の方 法によるも可と する。	○
		配 線	電線の色分け、接続の適否	立	検		○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
	(2.18.2) 絶 縁 測 定	耐 圧 を 含 む	特に必要な部分については立 会いを行う	立	検	絶縁抵抗測定表	○
電 力 設 備 工 事	(2.18.2) 接 地 抵 抗 測 定		特に必要な部分については立 会いを行う	立	検	接地抵抗測定表	○
	(2.18.1) 接 地		接地極の寸法、導線の太さ	立	検	写真その他の方法によるも可とする。	○
			接地極埋設位置の確認、表示	立	検	写真その他の方法によるも可とする。	○
受 変 電 設 備 工 事	(1.14.1) 機 材 確 認		製作図・施工図との合致	立	検		
			各機器、高圧盤の機能確認	立	検	試験成績書	
	(2.3.1) 施 工 確 認		設置状況・数量確認、接続の適 否	立	検		○
	(2.3.2) 保 護 継 電 器 の 整 定		保護協調曲線（地絡、過電流） による整定		承		
	(2.3.3) 施 工 試 験	リレー試験、 耐圧、総合動作 、 受 電		立	○	主任技術者に連絡	○
	(2.3.3) 接 地 抵 抗 測 定		特に必要な部分については立 会いを行う	立	検	接地抵抗測定表	○
電 力 貯 蔵 設 備 工 事	(2.3.1) 機 材 確 認		製作図・施工図との合致	立	検		
			整流装置、蓄電池の機能確認	立	検	試験成績書	
	(3.1.1～2) 施 工 確 認		機器の据付け状況	立	検		○
	(3.3.2) 施 工 試 験		構造及び機能試験	立	検	試験成績書	○
	(3.3.2) 絶 縁 測 定		特に必要な部分については立 会いを行う	立	検	絶縁抵抗測定表	○

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
発 電 設 備 工 事	(1.10.1)～(1.10.6) 原動機での発電設備 コージェネレーション設備 太陽光発電設備 風力発電設備 小出力発電設備 確 認	製造者規格による試験関係法令への適合試験	構造及び性能試験等	立	検	試験成績書	
	(2.7.1) 施 工 確 認		機器の据付け状況	立	検		○
発 電 設 備 工 事	(2.7.2)～(2.7.7) 原動機での発電設備 コージェネレーション設備 太陽光発電設備 風力発電設備 小出力発電設備 試 験	現 場 で の 総 合 試 験	構造、性能及び機能試験	立	検	試験成績書	○
通 信 ・ 情 報 設 備 工 事	(1.21.1) 機 材 確 認		製作図・施工図との合致	立	検		
			端子盤の構造・性能試験、各装置の形式試験、社内規格試験		○	試験成績書	
	(2.28.1) 施 工 確 認		数量の確認、機器の納まり状況	立	検		○
	(2.28.2) 施 工 試 験		設備毎に規定された試験（原則、全数試験）	立	検	試験成績書	○
	(2.28.2) 絶 縁 測 定		特に必要な部分については立会いを行う	立	検	絶縁抵抗測定表	○
中 央 監 視 制 御 設 備 工 事	(1.5.1) 機 材 確 認		製作図・施工図との合致	立	検		
			警報盤・監視制御装置の構造・性能試験		検	試験成績書	
	(2.3.1) 施 工 確 認		機器の据付け状況	立	検		○
	(2.3.2) 施 工 試 験		機能試験	立	検	試験成績書	○
(2.3.2) 絶 縁 測 定		特に必要な部分については立会いを行う	立	検	絶縁抵抗測定表	○	

区分	監 理 項 目		主 な 事 項	立 会 い の 別	監 理 業 務 区 分	備 考	写 真 撮 影
	要 点	細 目					
昇 降 機 設 備 工 事	製 品 検 査		製作図・施工図との合致	立	検		
	施 工 確 認		機器の据付け状況	立	検		○
	運 転 試 験		試運転時における各機器の動作	立	検	日本エレベータ協会 で定める試験成績表	
	絶 縁 測 定		特に必要な部分については立 会いを行う	立	検	絶縁測定表	○